

オーディオ実験室収載

DSD 再生のチャレンジ(9)

—192KHz24bit WAV から 256sDSD への変換(2)—

1. 始めに

前報(8)では BS 録画の SWD-DA10 経由での 192 KHz 24bit WAV 録音を行いましたが、今回は micro iDSD に替えて実施しました。

2. micro iDSD 経由の 192 KHz 24bit WA 録音と DSD 変換再生の方法

元音源は BS 放送の録画とし録音ルートは下記のとおりとします。

BZT-9000→CCV-5 (96KHz) →micro iDSD→DA-3000 (192KHz)

ここで、CCV-5 には GPS-777 から 96KHz のクロックを、DA-3000 には GPS-777 から 192KHz のクロックを供給します。DA-3000 の録音条件は 192 KHz 24bit WAV に設定しています。

PC オーディオでの試聴ルートは下記のとおりとします。再生ソフトは HQPlayer Desktop 3 ASIO を使用して、micro iDSD に 256sDSD で送り出しています。

PC→micro iDSD→DA-3000 (44.1 KHz) →MYTEK DIGITAL 192-DSD
(DA-3000 よりクロック供給)

ここで、DA-3000 には ABS-7777 から 44.1 KHz のクロックを供給します。PC と micro iDSD には USB リベルメンテ 1.3m で接続しています。

192 KHz 24bit WAV 音源は外付け HDD に収納しており、PC とは USB リベルメンテ 1.3m で接続しています。

Buffalo 製 HD-LSU2D→PC

3. micro iDSD 経由の 192 KHz 24bit WA 録音と DSD 変換再生の結果

DA-3000にGPS-777からクロックをいれた条件でmicro iDSD 経由で192 KHz 24bit WAV録音したことは前報(8) 同様、今回も効果があり、以前のDR-100による96 KHz 24bit WAV録音より透明度、解像度などがアップしました。

3. まとめ

DA-3000 に GPS-777 からクロックをいれた条件で micro iDSD 経由で 192 KHz 24bit WAV 録音したことは効果がありました。

以上